生き物の生息環境と地域住民の親水空間に配慮した水路づくり

水ヶ沢地区　里地里山・田園保全再生事業／平内町

工事の概要

本地区は平内町の西側に位置し、昭和 40 年代後半から 50 年代にかけての団体営ほ場整備事業で整備された排水路ですが、現況が土水路であったため経年変化により水路の護岸機能が喪失し、土砂堆積による排水機能の低下が著しいことから地元から整備要望が上がっていました。

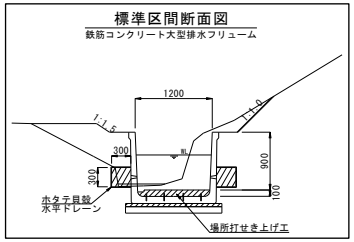
一方、ドジョウやカワニナなどの生物も多数目撃されていること、以前から野菜等の洗い場や子供達の遊び場でもあったことなどから、整備に当たっては生物の生息空間の確保だけでなく親水性の構造にしてほしいとの要望もありました。

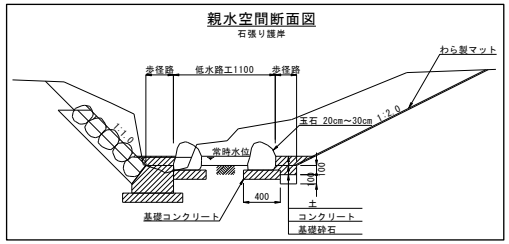
そこで、「里地里山・田園保全再生事業」を活用し、水路機能の回復と併せ環境の保全・再生を行うこととしました。

事業概要

工　　期	H27～H28
工 事 費	15,980 千円
工事内容	水路工 L=212.0m(うち親水空間区間 27.9m)

1　標準断面図





2　現況写真

整備前の土水路

整備された排水路（左）と親水空間（右）

主な取組内容

地域力の再生

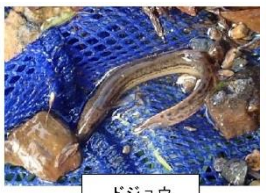
事業実施にあたり、水ヶ沢地区環境公共推進協議会を設立。（平成 27 年 10 月 27 日）

維持管理組合の他、保全の会、農業者代表、町内会等も加わり、整備構想から完成後の日常管理まで参加しています。

環境の保全･再生

事業実施の前年度に、地域に生息する生物を把握するため生き物調査を行いました。水生生物の生息環境を確保するため、水路の側辺に湾処を設け、水路底に 10cm 程度水が溜まるように隔壁を設置し、生物の生息場所を設けました。

シマドジョウ



ドジョウ

コオイムシ

カワニナ